

ターゲット 4.6 2030年までに、すべての若者及び大多数（男女ともに）の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする。

識字教室建設・運営

カリブ海 ハイチ

学校名 ①識字教育センター

校舎建設完成年月 2012年10月

開校年月 2013年1月

教育内容

成人男女を対象としたハイチ語の識字教室。授業料は無料。2015年9月から初級コース・中級コース・上級コースの3クラス。授業は週4日、16時から18時まで。

【初級コース】 政府発刊の「教科書1」を3ヶ月学習後、第1次国家試験とテキスト音読テストを受け、合格者は「教科書2」に進む。50点以上で合格。「教科書2」と「足し算・引き算・掛け算」を3ヶ月間学習後に第2次国家試験とテキスト音読テストを実施。すべての試験合格者には合格証書が授与され、不合格者でも50%以上の出席率の生徒には参加証書が授与される。

【中級コース】 WFWP独自のコース。初級コースの合格者を対象に、幼稚園年長クラスの教科書を使用して、読み書きの上達を目指す。4ヶ月学習後、筆記試験とテキストを読む試験を実施し、成績表を渡す。

【上級コース】 WFWP独自のコース。中級コースの合格者を対象に、小学校1年生の教科書を使用して、読み書きの上達を目指す。4ヶ月学習後、筆記試験とテキストを読む試験を実施し、成績表を渡す。



授業の様子

進展状況

2017 試験結果

コース	受験者数	合格者	合格率
初級Ⅰ	43	38	88%
中級Ⅱ	21	10	47%
上級Ⅰ	26	26	100%
上級Ⅱ	16	16	100%

2018 試験結果

コース	受験者数	合格者	合格率
初級Ⅰ	11	6	55%
中級Ⅱ	18	16	89%
上級Ⅰ	13	11	85%

概要

ユネスコによると、ハイチの15歳以上の識字率は60.7%（2015年）。1804年にラテン・アメリカで最初の独立国になったにもかかわらず、公用語はフランス語で、国民の80%が理解できるハイチ語（クレオール語）が公用語になったのは1987年だった。それまで教育はフランス語で行われていた為、貧困層や地方の人々が良い教育を受けることが非常に困難だったことが現在の低い識字率につながった。

2010年1月にM7.0の大地震が発生し、首都ポルトープランスは壊滅状態に陥った。WFWPで識字教室を定期的に行っていた学校が完全に崩壊し、識字教室の継続が困難になった。そこで、WFWP日本で義援金を集めて、復興支援として、識字教室の建設を決定。2011年9月に建設を開始し、2012年10月に完成、2013年1月に開校。国立識字教育デルマ事務局の指導を受けてきた。

生徒数	コース	男性	女性	合計
2017	初級Ⅰ	3	37	40
	中級Ⅱ	0	23	23
	上級Ⅰ	2	34	36
	上級Ⅱ	0	21	21
	合計	5	115	120
2018	初級Ⅰ	0	14	14
	中級Ⅱ	0	18	18
	上級Ⅰ	2	15	17
	合計	2	47	49



学校名 ②ミラゴアーヌ識字教室

校舎完成年月 2018年7月

開校年月 2018年11月

教育内容

成人男女を対象としたハイチ語の識字教室。授業料は無料。初級コースを週4日（月～木）、16時から18時まで2時間授業を行う。

概要

2014年4月12日、ミラゴアーヌ市長がWFWPハイチ主催GWPN大会に参加し感銘を受けたことから、ミラゴアーヌ市が社会貢献を目的にWFWPに無償で土地を提供することを決定。その後WFWPインターナショナルの支援を受け、2018年7月に識字教室の校舎が完成し、10月5日にミラゴアーヌ市長を招待して開校式が開催された。WFWP韓国より「平和は母の心から始まる」というメッセージの入ったプレートが寄贈された。